

編集後記

- ▽『禅研究所紀要』第五十号をお届けします。
- ▽本号は、五十号の節目に当たり、巻頭に所長の岡島より「刊行のことば」を掲載いたしました。
- ▽本号は、五十号を記念して、岡島所長による「禅・仏教研究の方法論について」と、本学名誉教授川口高風先生の玉稿を掲載するとともに、所員、研究員などによる五編の研究論文、二編の資料を収載することができました。ご執筆くださいました先生方に深謝申し上げます。
- ▽口絵の「選佛場」は、本学の坐禅堂に掲げられている扁額です。その文字は名古屋市中区大須大光院十七世梅嶺大枝が揮毫したものです。この扁額はもともと本学の前身である曹洞宗専門支校に掲げられていましたが、現在のものは、坐禅堂が建てられた昭和五十五年（一九八〇）頃に作り替えられたものと思われまます。
- ▽コロナ禍はいまだ癒えず、本年度も予定していた行事の多くが中止または延期を余儀なくされました。そんな中でも、七月と十一月から一月に火曜参禅会を、十月から一月に禅と法話の会「放光」を開催することが出来ました。
- ▽当研究所では数年前より日進市との連携事業として、様々な事業を展開してきております。本年度は、「日進市提案型大学事業」として、「心と体の健康生活―愛学メソッド―禅を味わう」を十二月と一月の二回に分けて開催しました。
- ▽近年、SDGsという言葉を頻繁に耳にするようになりました。当研究所でもできることがないか、現在模索中です。
- ▽末筆ながら、本号の刊行にあたり、ご尽力くださいました関係各位に、心より御礼申し上げます。
- （編集委員 河合泰弘）

禅研究所紀要（第五十号）

令和四年三月一六日 印刷
令和四年三月三一日 発行

（非売品）

発行責任者

岡島秀隆

発行所

愛知学院大学禅研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二

電話〇五六―七三一一―二

郵便番号 四七〇―一九五

印刷所

株式会社 あるむ

名古屋市中区千代田三―二

電話〇五―三三三―〇八六一

郵便番号 四六〇―〇〇二二